

次期中期活動方針重点課題 「人材不足対策支援」

2024・3・29

はじめに

少子高齢化のもと我が国はあらゆる産業が「人手不足」に陥っている。
特に大企業より中小企業、大都会より地方がこの傾向が強い、これはまさしく当 NPO クラブの活動のエリアです。そのため今後はこの「課題」について中期活動方針の重点課題として真剣に取り組む必要がある。

I、外国人材の紹介(国際交流)

1. 現在我が国は国が制度で認めた「外国人材」は中進国(主にアジア)の若者が中心で相手国の産業興隆と友好関係を目的とする。

A、高度外国人材 B、技人国人材 C、特定技能 2号・1号 D、技能実習生 E、留学生

2、人材紹介提携先(未契約を含む)

(1) エスハイ社(東京)・・・ベトナム

(2) テクノワールド(株)(東京・大阪)・・・ベトナム・ミャンマーなど

(3) (株)ニッセイプロダクト(東京)・・・ベトナムなど

(4) (株)夢サポート(東京・大阪)・・・ベトナムなど

(5) オセロ・ファイナンシャルサービス(兵庫)・・・ベトナムなど

(6) (株)ソフトブリッジグローバルスタディーズ(東京)・・・ベトナム

(7) EDAMAMMY(東京)・・・ネパール

(8) サンアローズ(東京)・・・

3、紹介先

「賛助会員」「特定支援会員」「一般支援契約先」その他「人手不足」に悩む中小企業などに斡旋する。

4、契約その他

1. 契約先とは「販路開拓支援契約」を締結する。

2. 紹介料については別途検討する。

II、シニアの活用(NPO版 ハローワーク)

1、1月4日の日経新聞朝刊によると65歳以上の「第二の定年者」の就労希望者は多いが「ミスマッチ」多いと報じている。

2、幸いNPOクラブは会員は約250名で出身企業は200社超となっていてあらゆる業種の人がいるので、色々なニーズがあると思はれる。

3、そこで出身企業および知り合いに組織の「人事担当部門」あるいはOB会と提携し再就職希望者を「賛助会員」「特定支援会員」「販路開拓支援先」

その他「人手不足」に悩む中小企業などにあっせんする。

4, 具体的には(1)出身企業には求職希望者の紹介を依頼し(2)、支援先には求人者の希望を聞き取る。

いずれも「業種」「職種」「条件」などを明確にする。

関係先には趣旨を明確した文書を発信する。

5, NPO は 2015 年 4 月に「有料職業紹介事業」の許可を取得しているが紹介料は別途検討する。

6, シニアの紹介に当たっては慎重に進めていく。

Ⅲ、編成

1. プロジェクトチーム: (1) A～E・関西各グループ各1名

(2) 甲斐・内田・井料・中嶋・酒井・宇野・宇井野

2, グルー内担当: 各グループ複数名

Ⅳ、その他

1, 予算については別途検討する。

2, 開始時期は 2024 年 4 月 1 日とする。